

江戸川乱歩館

江戸川乱歩資料館は、アメリカの推理小説家、エドガー・アラン・ポーにちなんだ筆名を持つ日本の推理小説家、江戸川乱歩（1894-1965）を記念して名付けられました。この資料館は地元の芸術家で男色研究の先駆者だった岩田準一（1900-1945）の旧居の中に造られています。江戸川乱歩の共働・共作者であった岩田は当時の文人たちと親交が深かったことで知られていました。1950年代特有の雰囲気伝えるよう注意深くデザインされた建物には、出版物に加え、岩田とモダン・アートの先駆者である竹久夢二をはじめとした他の作家や芸術家との間で交わされた書簡が収蔵されています。また、鳥羽で「潮騒」を執筆した小説家の三島由紀夫(1925-1970)に焦点を当てた展示セクションもあります。